



大利中だより

2号

文責: 校長 新莊悌男

校長レポート①

大利中は自問清掃を行うことで、「気働き」を学んでいます!

学校生活をきちんとしたものにするために、大利中では、次のように「4つの規律」を設けています。

- ①明るく元気な「挨拶」 ②礼儀正しい「言葉遣い」
③清潔な「身だしなみ」 ④「清掃」による美しい学校

この4つは、大利中の「生活訓」です。今回は、その中の「清掃」についての考えを述べます。中学生は、小学生の時、つまり、下大利小や大利小の時、「モクモク清掃」や「黙動清掃」を経験しています。子どもたちは、無駄話をしないで、黙ってモクモクと掃除をすることを学んで中学校に入学してきます。本当に素晴らしいことです。

そこで、この経験をさらに積み上げるために、中学校では「自問清掃」に取り組んでいます。そのねらいは、清掃を通して「おもてなしの心」を学んでほしいということです。「気づき・行動する」は大利中の生徒会のテーマですが、正に、人の動きに気づき、そして自分に問いかけながら清掃し、おもてなしの心につながる「集中力、気働き、発見力」といったことを学んでほしいと願っています。

具体的には、静かな集中を学ぶことです。おしゃべりは他人に迷惑になることを理解し、おしゃべりを我慢して集中できる人に成長してほしいものです。また、友達の何気ない動作や表情からでも、友達が何を希望しているの

か、何に困っているのか、人の心を汲む(くむ)気働きが大切であることを学んでほしいと思います。さらに、ゴミを見つけようとする、どうすればきれいにできるか等を考えることで発見力を高めてほしいと思っています。

清掃は、教室や廊下を磨くだけではなく、心を磨くと言われますが、そのポイントはマニュアル通りにするのではなく、やはり自発的に行うからこそ価値があります。

家庭でも進んで掃除や手伝いができる中学生であることを心から願っています。



「自問清掃の様子」

校長レポート②

「体育祭の主役は生徒、その陰で支える教師の存在！」

体育祭の取組は、生徒の頑張りや教師の頑張りがあるからこそ成功します。例えば、種目の演技図を本当に細かく作成したり、生徒の安全性を確保するための多くの用具を準備したり、パネル作成では隅々まで指導したりしています。その他にも、会場係をはじめ、放送係、記録係、総務係、庶務係、招集係、審判係、救護係、警備係、音楽係、受付接待係等、前日までの仕事と当日の仕事があります。目に見えない仕事を、朝早くから夜遅くまできめ細かく行ってくれている教師に心から感謝しています。

今年の体育祭のテーマは、 一致団結! Victory

644人が輝く日本一のTeam です

体育祭は、その当日だけ成功すればよいのではなく、それまでの練習が大切です。今年は、その練習期間が短かく、生徒は大変です。また、40周年を記念して、新しい種目にも挑戦しています。特に、男子の組体操では、機敏な動きや土台として耐えることが求められています。筋力がついていてこそできるものですが、その足りない分は、「気合い」を入れて頑張っています。すでに日本一に匹敵する大きな声が出ており、嬉しい限りです。



「体育祭の練習の様子」

5・6月の行事

| | |
|-----------|----------------|
| 5月 15日(金) | 大利の日 |
| 5月 17日(日) | 創立40周年記念「体育祭」 |
| 5月 27日(水) | 中間テスト |
| 6月 1日(月) | 大利の日 |
| 6月 4日(木) | 暴力団追放講座(全学年対象) |
| 6月 8日(月) | 交通安全教室(1年生対象) |
| 6月 12日(金) | 進路説明会(3年生対象) |
| 6月 15日(月) | 大利の日 |

*コミュニティ・スクール大利中は、毎月1日と15日を「大利の日」と名付けて、地域の方、PTA、大利小、下大利小の協力のもと、朝の登校時間にあいさつ運動をしています。